

○ 不合格だったが…

これまでの不合格の中で最も価値のある不合格だったと思います。
不合格と聞くと「また一年後」「ダメだ」「人生設計が狂った」など、どうしてもネガティブな感情を持ってしまおうでしょう。
もちろん、今夏は「本務者になるんだ」という思いで教員採用試験を受け、本気で準備しました。
悔しい気持ちは当然ありますが、「自分の弱みが分かった不合格」でもあったため、最も価値のある不合格なのです。

なぜ、「不合格」をこのようにとらえることができたのか？
それは、鍛地頭の「厳しい指導」にあります。

鍛地頭では、塾生や受講者の解答が高い水準に到達するまで、同じ問いに何度でも、手を替え品を替え、スタッフからの追加質問が続きます。
時には論の矛盾を指摘され、問いへの解答が振り出しに戻ることもあります。
正直、心が折れそうになったことも一度や二度ではありません。
しかし、その問いが鍛地頭の水準に達したとき、その分野や問いに対して、絶対的な自信と根拠を持つことができます。

先日、今回の不合格の原因について鍛地頭のスタッフと検証しました。
そこで、理解できたことは「知識の獲得、知の統合化及び表現」の粗さでした。
これらの課題が「自分の弱み」なのです。この不合格の理由を改善して、次に活かしていきたいです。

○ 教採革命「鍛地頭」

この塾は、既存のワークやセミナー雑誌はほぼ使用しません。
代わりに、OneNoteとMicrosoft Teamsというシステムを使用して、鍛地頭オリジナル教材を演習します。これまでの「受験学習」のような問題演習ではなく、一つの教育的事象や課題を通じて、教採対策を行う学習のため、正直戸惑うこともあります。
しかし、鍛地頭方式の学習が身につけば、教採対策は無論のこと、現場に臨採や非常勤で入った際に、児童や生徒を指導しやすくなります。

これまでの教採対策ではうまくいかない、勉強の仕方がわからない方は、一度ブログを覗かれてはいかがでしょうか。鍛地頭の様子がわかるかもしれません。

○ 鍛地頭を検討中の方へ

私は、何年も教員採用試験を受験しています。これまで私は、他塾や大手予備校、個人ゼミ、大学の県人会などで学んできました。鍛地頭の受講料は一つひとつの講座が安価に設定されているので、一見すると「この安さで大丈夫かな?」「有名な予備校ではないから、信頼できるかな?」と正直不安になると思います。私も鍛地頭を紹介されたとき、同じことを思いました。

しかし、スタッフは**尋常じゃない熱意と教育愛**をお持ちです。
一度、無料講座などでスタッフと対話されるとこの言葉の意味を感じられると思います。
スタッフの指導力の高さは並外れています。信頼できます。

現に私は、スタッフの教育愛によって「もう一度、真摯に生徒と向き合って教育活動をしたい」と思い直し、講師として現場に戻って、新たな一歩を踏み出すことができました。

「教師になりたいけど、ブラックだから止めようかな(本心はなりたくないけど)」とお思いの方、一度ご検討されてはいかがでしょうか。

《追記》

昨今の情報社会でSNS等を閲覧すると、「教採は運だよ」「友人の〇〇は5回受けて今年、受かったよ。やっと〇〇の良さがわかる面接官に巡り合えてよかったね。」などの情報があふれています。
確かに、「運」が全く関係ないかというそれは違うと思いますが、「少なくとも教育公務員として適切で責任のある校務ができるのか?」は、試験で見られていると思います。

結果を出していない人間が言える立場ではないのですが、こうした情報を鵜呑みにせず、地道に力をつけることが大切です。その力をつける場が、鍛地頭です。